

認知症疾患医療センター運営事業の取組状況について

県が県内10箇所の病院を認知症疾患医療センターとして指定し、国の実施要綱に基づき下記の業務を委託により実施。

〔委託内容〕 専門医療相談、鑑別診断、研修会等の開催、認知症疾患医療連携協議会の開催、診断後の認知症の人や家族に対する相談支援等の実施など

1 「都道府県の責務等」 （実施要綱 第5）

○都道府県及び指定都市は、事業の推進にあたり次の3つの取組を行う。

都道府県
の責務等

(1)都道府県認知症疾患医療連携協議会の設置及び運営

(2)事業の取組に関する評価等の実施

※情報収集・分析を行うとともに、地域の実情に応じた評価、必要な課題等の抽出及びその解決等に向けた取組等の検討

(3)センター事業に携わる職員の研修等の推進

2 認知症疾患医療センター事業の取組に関する評価等の具体的手法について

①事業実績報告書を基に認知症疾患医療センターの取組状況を把握

- ・ 認知症疾患医療センターから提出される事業実績報告書の確認、集計
- ・ 認知症疾患医療センター連絡会等で把握した情報等をまとめて提示

②栃木県認知症対策推進会議において認知症疾患医療センターの取組状況を共有、意見交換

③認知症疾患医療センターに携わる職員の人材育成

- ・ 会議の意見交換等の内容もふまえ各種研修会等を周知